

11. 1対1通信関数, 集団通信関数

MPIプログラム（M-2）：1対1通信関数

【問題】

1から100までの整数の和を2並列で求めなさい。

■ プログラムの方針

- ◆ プロセス0： 1から50までの和を求める。
- ◆ プロセス1： 51から100までの和を求める。
- ◆ プロセス1の結果をプロセス0に転送
- ◆ プロセス0で、自分の結果と転送された結果を足して出力する。

MPIプログラム M-2 (sum.c)

```
#include <stdio.h>
#include <mpi.h>
int main( int argc, char **argv )
{
    int start, end, i, sum_local, sum_recv;
    int nprocs, myrank, tag;
    MPI_Status status;

    MPI_Init( &argc, &argv);
    MPI_Comm_size( MPI_COMM_WORLD, &nprocs );
    MPI_Comm_rank( MPI_COMM_WORLD, &myrank );
    tag = 100;
    start = myrank * 50 + 1;
    end = (myrank+1)*50;
    sum_local = 0;
    for( i=start; i<=end; i++ ) {
        sum_local = sum_local + i ;
    } ;

    if( myrank == 1) {
        MPI_Send( &sum_local, 1, MPI_INT, 0, tag, MPI_COMM_WORLD ) ;
    } else {
        MPI_Recv( &sum_recv, 1, MPI_INT, 1, tag, MPI_COMM_WORLD, &status ) ;
    };
    if( myrank == 0 ) printf("Sum = %d¥n", sum_local+sum_recv ) ;

    MPI_Finalize();
    return 0 ;
}
```

MPIプログラム M-2 (sum.c)

- 青：MPIプログラムのおまじない（既出）
- 緑：プロセス番号（ランク）に応じた処理
- 赤：MPI関数によるプロセス間通信

```
#include <stdio.h>
#include <mpi.h>
int main( int argc, char **argv )
{
    int start, end, i, sum_local, sum_recv;
    int nprocs, myrank, tag;
    MPI_Status status;

    MPI_Init( &argc, &argv);
    MPI_Comm_size( MPI_COMM_WORLD, &nprocs );
    MPI_Comm_rank( MPI_COMM_WORLD, &myrank );
    tag = 100;
    start = myrank * 50 + 1;
    end = (myrank+1)*50;
    sum_local = 0;
    for( i=start; i<=end; i++ ) {
        sum_local = sum_local + i ;
    } ;

    if( myrank == 1 ) {
        MPI_Send( &sum_local, 1, MPI_INT, 0, tag, MPI_COMM_WORLD ) ;
    } else {
        MPI_Recv( &sum_recv, 1, MPI_INT, 1, tag, MPI_COMM_WORLD, &status ) ;
    };
    if( myrank == 0 ) printf("Sum = %d\n", sum_local+sum_recv ) ;

    MPI_Finalize();
    return 0 ;
}
```

ランクの値から自分の計算範囲を求める

各プロセスが
部分和を計算

プロセス1はプロセス0に自分の
部分和を送信

プロセス0はプロセス1から部分
和を受信（変数名が違うこと
に注意）

プロセス0 (rank 0) が、総和を出力

1対1通信 – 送信関数 MPI_Send (送り出し側)

```
int MPI_Send(void *buff, int count, MPI_Datatype datatype, int dest,  
            int tag, MPI_Comm comm)
```

- ◆ buff: 送信するデータの変数名 (先頭アドレス)
- ◆ count: 送信するデータの個数
- ◆ datatype: 送信するデータの型
 - MPI_CHAR, MPI_INT, MPI_DOUBLE など
- ◆ dest: 送信先のMPIプロセス番号 (destination)
- ◆ tag: メッセージ識別番号. 送るデータを区別するための番号
- ◆ comm: コミュニケータ (例えば, MPI_COMM_WORLD)

※ 関数の戻りコードは, エラーコード

1対1通信 – 受信関数 MPI_Recv (受け取り側)

```
int MPI_Recv(void *buff, int count, MPI_Datatype datatype, int source,  
            int tag, MPI_Comm comm, MPI_Status *status)
```

- ◆ buff: 送信するデータの変数名 (先頭アドレス)
- ◆ count: 送信するデータの個数
- ◆ datatype: 送信するデータの型
 - MPI_INT, MPI_DOUBLE, MPI_CHAR など
- ◆ source: 送信先のMPIプロセス番号
- ◆ tag: メッセージ識別番号. 送るデータを区別するための番号
- ◆ comm: コミュニケータ (例えば, MPI_COMM_WORLD)
- ◆ status: 状況オブジェクト. MPI_Sendには, この引数はないので注意.

※ 関数の戻りコードは, エラーコード

関数の引数に関する注意（共通）

■ buff

- ◆ 送信するデータは領域は、**メモリ上で連続アドレス**でなければならない。
 - “先頭アドレスからx xバイトを送れ” という関数なので。
- ◆ 他の通信関数でも同じ。
- ◆ したがって、メモリ上で離れたところにある複数の変数を、1回の通信で同時に送りたい場合は、他の変数に連続してパック（pack）させてから、送る必要がある。

■ datatype：予約語（決まっている）

- ◆ MPI_INT（整数型），MPI_DOUBLE（倍精度実数型），MPI_CHAR（文字型）などが使用できる。
- ◆ バイト数を計算するために必要

■ tag

- ◆ 同じプロセスに対し、複数回メッセージを送るとき、メッセージを受取ったプロセスが、どのメッセージかを区別するために使用する。
- ◆ 受取側の MPI_Recv では、メッセージに対応したtagで受け取らなければならない。
- ◆ 複数回のメッセージでも、送受信の順番などを区別できる場合は、同じtagでも良い。

演習11-1 1から100までの和を2並列で求めるプログラムの実行

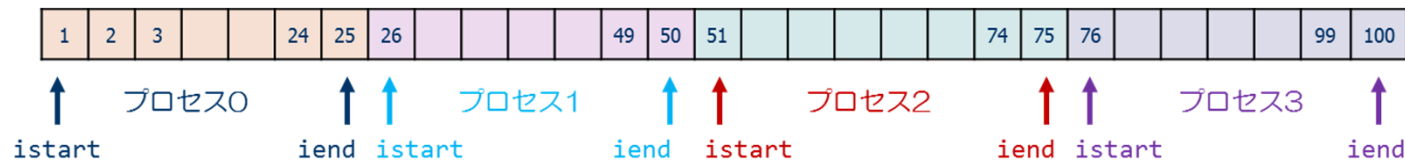
- 1 から 100 までの整数の和を2並列で求めるプログラム (sum.c) を2プロセスで実行し, 結果を確認せよ.

【手順】

- ① /tmp/Summer/M-2/sum.c を適切なディレクトリにコピーする.
- ② sum.c をコンパイルする.
 - `icc sum.c -lmpi`
- ③ /tmp/Summer/M-2/go.sh をコピーして, ジョブを実行.
- ④ バッチジョブ出力結果 (sum.onnnnnn) を確認する.
 - 正しい答え (Sum = 5050) が出力されているか?
 - プロセス0 (rank 0) だけが出力していることに注意.

演習11-2（発展）

- 1 から 100 までの整数の和を求めるプログラムを、4並列で実行できるように修正し、4プロセスで実行せよ。
 - ◆ プロセス0が結果を出力する。
 - ◆ MPI_Send, MPI_Recv関数だけを使うこと。
- プログラム改良のヒント
 - ◆ 各プロセスの部分和を計算する範囲を、myrank をうまく使って求める。myrankは、0 から 3の整数である。



- ◆ myrank ≠ 0 以外のプロセスから、プロセス0 (myrank=0) に部分和を送信する。
- ◆ プロセス0 (myrank=0) は、他の3つのプロセスから送られた部分和を受信 (forループ) し、受信するごとに受信したデータを加え、全体の和を計算する。

集団通信関数

- 1対1通信関数の煩雑な点
 - ◆ プロセス数が多くなると、1対1通信関数を用いたプログラムは複雑
 - ◆ 煩雑になるとバグが入りやすい。
- もっと簡単な方法はないのか？ → 集団通信関数
 - ◆ MPI_Bcast
 - あるプロセスから、すべてのプロセスに値を一斉に配る関数
 - ◆ MPI_Reduce
 - すべてのプロセスから、あるプロセス（例えば rank 0）に値を集めて、何らかの演算（+、x、max、minなど）を適用する関数

MPIプログラム sum_reduction (集団通信関数を使う)

```
include <stdio.h>
#include <mpi.h>

int main( int argc, char **argv )
{
    int start, end, i, sum_local, sum, n ;
    int nprocs, myrank ;
    MPI_Status status;

    MPI_Init( &argc, &argv);
    MPI_Comm_size( MPI_COMM_WORLD, &nprocs );
    MPI_Comm_rank( MPI_COMM_WORLD, &myrank );

    if( myrank == 0 ) n = 100 ;
    MPI_Bcast( &n, 1, MPI_INT, 0, MPI_COMM_WORLD );

    start = myrank *(n/nprocs) + 1;
    end   = (myrank+1)*(n/nprocs) ;
    sum_local = 0;
    for( i=start; i<=end; i++ ) {
        sum_local += i ;
    } ;

    sum = 0 ;
    MPI_Reduce( &sum_local, &sum, 1, MPI_INT, MPI_SUM, 0, MPI_COMM_WORLD );

    if( myrank == 0 ) printf("Sum = %d\n", sum ) ;

    MPI_Finalize();
    return 0 ;
}
```

MPIプログラム sum_reduction (集団通信関数を使う)

```
include <stdio.h>
#include <mpi.h>

int main( int argc, char **argv )
{
    int start, end, i, sum_local, sum, n ;
    int nprocs, myrank ;
    MPI_Status status;

    MPI_Init( &argc, &argv);
    MPI_Comm_size( MPI_COMM_WORLD, &nprocs );
    MPI_Comm_rank( MPI_COMM_WORLD, &myrank );

    if( myrank == 0 ) n = 100 ;
    MPI_Bcast( &n, 1, MPI_INT, 0, MPI_COMM_WORLD );

    start = myrank *(n/nprocs) + 1;
    end   = (myrank+1)*(n/nprocs) ;
    sum_local = 0;
    for( i=start; i<=end; i++ ) {
        sum_local += i ;
    } ;

    sum = 0 ;
    MPI_Reduce( &sum_local, &sum, 1, MPI_INT, MPI_SUM, 0, MPI_COMM_WORLD );

    if( myrank == 0 ) printf("Sum = %d\n", sum ) ;

    MPI_Finalize();
    return 0 ;
}
```

- 青：MPIプログラムのおまじない (既出)
- 緑：プロセス番号 (ランク) に応じた処理
- 赤：MPI関数によるプロセス間通信

プロセス0が nの値をセットする

nの値を全プロセスに放送

ランクの値から自分の計算範囲を求める

各プロセスが
部分和を計算

部分和の総和を計算
(プロセス0に集める)

プロセス0だけが結果を出力

集団通信 — broadcast

```
int MPI_Bcast(void *buff, int count, MPI_Datatype datatype, int root,  
             MPI_Comm comm)
```

※ rootが持つbuffの値を, commで指定された他のプロセスのbuffに配布する.

- ◆ buff: 送り主 (root) が送信するデータの変数名 (先頭アドレス)
他のMPIプロセスは, 同じ変数名でデータを受け取る.
- ◆ count: データの個数
- ◆ datatype: 送信するデータの型
 - MPI_INT, MPI_DOUBLE, MPI_CHAR など
- ◆ root: 送り主のMPIプロセス番号
- ◆ comm: コミュニケータ (例えば, MPI_COMM_WORLD)

※ 関数の戻りコードは, エラーコードを表す.

集団通信 — reduction

```
int MPI_Reduce(void *sendbuff, void *recvbuff, int count,  
              MPI_Datatype datatype, MPI_Op op, int root, MPI_Comm comm)
```

※ commで指定されたすべてのプロセスからデータをrootが集め、演算 (op) を適用する。

- ◆ sendbuff: 送信するデータの変数名 (先頭アドレス)
- ◆ recvbuff: 受信するデータの変数名 (先頭アドレス)
- ◆ count: データの個数
- ◆ datatype: 送信するデータの型
 - MPI_INT, MPI_DOUBLE, MPI_CHAR など
- ◆ op: 集まってきたデータに適用する演算の種類
 - MPI_SUM (総和), MPI_PROD (掛け算), MPI_MAX (最大値) など
- ◆ root: データを集めるMPIプロセス番号
- ◆ comm: コミュニケータ (例えば, MPI_COMM_WORLD)

※ 関数の戻りコードは、エラーコードを表す。

リダクション演算とは

■ リダクション演算

- ◆ 加算, 乗算, 最大値のように, 複数のデータを入力として1個の出力データを求める演算

■ MPIで使えるリダクション演算

- ◆ MPI_SUM (和), MPI_PROD (積),
- ◆ MPI_MAX (最大値), MPI_MIN (最小値)
※他にも論理和などがある

■ ベクトルに対するリダクション演算も可能

- ◆ ベクトルの各要素に対してリダクション演算を行い, その結果を要素とするベクトルを生成
- ◆ m 個のベクトル $x_1, x_2, x_3, \dots, x_m$ をそれぞれ長さ n のベクトルとするとき, それらの和 $x = x_1 + x_2 + x_3 + \dots + x_m$ を求める計算
- ◆ 引数 count には, ベクトルの長さ n を指定すればよい.

演習11-3 集団通信関数を使ったプログラムの実行

- プログラム `sum_reduction.c` を, 2 MPIプロセス, 4 MPIプロセスで実行し, 結果を確認せよ.

【手順】

- ① `/tmp/Summer/M-2/sum_reduction.c` を適切なディレクトリにコピーする.
- ② `sum_reduction.c` をコンパイルする.
 - `icc sum_reduction.c -lmpi`
- ③ `go.sh` を修正して, ジョブを実行.
- ④ バッチジョブ出力結果 (`sum.onnnnnn`) を確認する.
 - 出力に正しい答え (`Sum = 5050`) が出力されているか?

演習11-4（発展1）

- プロセス毎に部分和を出力した後，すべてのプロセスで総和を計算し，プロセス毎に総和結果を出力をせよ.
 - ◆ それぞれのプロセスが出力する総和が同じであることを確認する）.
 - ◆ 出力のイメージ

```
Rank: n -> Local sum = xxxx
Rank: n -> Total sum = xxxx
```
- プログラム改良のヒント
 - ◆ MPI_Reduce, MPI_Bcast を順に使う.
 - ◆ 各プロセスで，printf で出力させる.

```
printf("Rank: %d -> Local sum = %d", myrank, local_sum);
```
- 同じ処理をする関数 **MPI_Allreduce** がある.

集団通信 — MPI_Allreduce

```
int MPI_Allreduce( void *sendbuff, void *recvbuff, int count,  
                  MPI_Datatype datatype, MPI_Op op, MPI_Comm comm )
```

※ MPI_ReduceとMPI_Bcastを同時に行える関数。すべてのプロセスで同じ結果（総和など）が得られる。

- ◆ sendbuff: 送信するデータの変数名（先頭アドレス）
- ◆ recvbuff: 受信するデータの変数名（先頭アドレス）
- ◆ count: データの個数
- ◆ datatype: 送信するデータの型
 - MPI_INT, MPI_DOUBLE, MPI_CHAR など
- ◆ op: 集まってきたデータに適用する演算の種類
 - MPI_SUM（総和）, MPI_PROD（掛け算）, MPI_MAX（最大値）など
- ◆ comm: コミュニケータ（例えば, MPI_COMM_WORLD）

※ 関数の戻りコードは、エラーコードを表す。

演習11-5（発展2）

- MPI_Reduce, MPI_Bcast の組を MPI_Allreduce で書き換えよ.
 - ◆ 出力のイメージは, 書き換え前と同じ.
Rank: n -> Local sum = xxxx
Rank: n -> Total sum = xxxx
- プログラム改良のヒント
 - ◆ MPI_Allreduceの引数である sendbuff, recvbuff をうまく指定する.

参考：Fortran版

MPIプログラム (sum.f90)

```
program sum100_by_mpi
use mpi
implicit none
integer :: i, istart, iend, isum_local, isum_tmp
integer :: nprocs, myrank, ierr
integer :: istat(MPI_STATUS_SIZE)
call mpi_init( ierr )
call mpi_comm_size( MPI_COMM_WORLD, nprocs, ierr )
call mpi_comm_rank( MPI_COMM_WORLD, myrank, ierr )
istart = myrank*50 + 1
iend   = (myrank+1)*50
isum_local = 0
do i = istart, iend
  isum_local = isum_local + i
enddo
if( myrank == 1 ) then
  call mpi_send( isum_local, 1, MPI_INTEGER, 0, 100, MPI_COMM_WORLD, ierr )
else
  call mpi_recv( isum_tmp, 1, MPI_INTEGER, 1, 100, MPI_COMM_WORLD, istat, ierr )
end if
if( myrank == 0 ) print *, 'sum =', isum_local+isum_tmp
call mpi_finalize( ierr )
end program sum100_by_mpi
```

MPIプログラム (sum.f90) の説明

```
program sum100_by_mpi
use mpi
implicit none
integer :: i, istart, iend, isum_local, isum_tmp
integer :: nprocs, myrank, ierr
integer :: istat(MPI_STATUS_SIZE)
call mpi_init( ierr )
call mpi_comm_size( MPI_COMM_WORLD, nprocs, ierr )
call mpi_comm_rank( MPI_COMM_WORLD, myrank, ierr )
istart = myrank*50 + 1
iend   = (myrank+1)*50
isum_local = 0
do i = istart, iend
  isum_local = isum_local + i
enddo
if( myrank == 1 ) then
  call mpi_send( isum_local, 1, MPI_INTEGER, 0, 100, MPI_COMM_WORLD, ierr )
else
  call mpi_recv( isum_tmp, 1, MPI_INTEGER, 1, 100, MPI_COMM_WORLD, istat, ierr )
end if
if( myrank == 0 ) print *, 'sum =', isum_local+isum_tmp
call mpi_finalize( ierr )
end program sum100_by_mpi
```

- 青：MPIプログラムのおまじない（既出）
- 緑：プロセス番号（ランク）に応じた処理
- 赤：MPI関数によるプロセス間通信

ランクの値から自分の計算範囲を求める

各プロセスが
部分和を計算

プロセス1はプロセス0に自分
の部分を送信

プロセス0が、総和を出力

プロセス0はプロセス1から部
分和を受信（変数名が違うこ
とに注意）

1対1通信 – 送信関数 `mpi_send` (送り出し側)

```
mpi_send( buff, count, datatype, dest, tag, comm, ierr )
```

※ ランク番号`dest`のプロセスに、変数`buff`の値を送信する。

- ◆ `buff`: 送信するデータの変数名 (先頭アドレス)
- ◆ `count`: 送信するデータの数 (整数型)
- ◆ `datatype`: 送信するデータの型
 - `MPI_INTEGER`, `MPI_REAL`, `MPI_DOUBLE_PRECISION`など
- ◆ `dest`: 送信先プロセスのランク番号
- ◆ `tag`: メッセージ識別番号. 送るデータを区別するための番号
- ◆ `comm`: コミュニケータ (例えば, `MPI_COMM_WORLD`)
- ◆ `ierr`: 戻りコード (整数型)

1対1通信 – 受信関数 `mpi_recv` (受け取り側)

```
mpi_recv( buff, count, datatype, source, tag, comm, status, ierr )
```

※ ランク番号`source`のプロセスから送られたデータを、変数`buff`に格納する。

- ◆ `buff`: 受信するデータのための変数名 (先頭アドレス)
- ◆ `count`: 受信するデータの数 (整数型)
- ◆ `datatype`: 受信するデータの型
 - `MPI_INTEGER`, `MPI_REAL`, `MPI_DOUBLE_PRECISION`など
- ◆ `source`: 送信してくる相手プロセスのランク番号
- ◆ `tag`: メッセージ識別番号。送られて来たデータを区別するための番号
- ◆ `comm`: コミュニケータ (例えば, `MPI_COMM_WORLD`)
- ◆ `status`: 受信の状態を格納するサイズ`MPI_STATUS_SIZE`の配列 (整数型)
- ◆ `ierr`: 戻りコード (整数型)

MPIプログラム sum_reduction.f90

```
program sum_by_reduction
use mpi
implicit none
integer :: n, i, istart, iend, isum_local, isum
integer :: nprocs, myrank, ierr

call mpi_init( ierr )
call mpi_comm_size( MPI_COMM_WORLD, nprocs, ierr )
call mpi_comm_rank( MPI_COMM_WORLD, myrank, ierr )
if( myrank==0 ) n=10000
call mpi_bcast( n, 1, MPI_INTEGER, 0, MPI_COMM_WORLD, ierr )
istart = (n/nprocs)*myrank + 1
iend   = (n/nprocs)*(myrank+1)
isum_local = 0
do i = istart, iend
  isum_local = isum_local + i
enddo
call mpi_reduce( isum_local, isum, 1, MPI_INTEGER, MPI_SUM, 0, &
                MPI_COMM_WORLD, ierr )
if( myrank == 0 ) print *, 'Sum (by reduction function) =', isum

call mpi_finalize( ierr )
end program sum_by_reduction
```

- 青：MPIプログラムのおまじない（既出）
- 緑：プロセス番号（ランク）に応じた処理
- 赤：MPI関数によるプロセス間通信

プロセス0がnの値をセットする

nの値を放送

ランクの値から自分の計算範囲を求める

各プロセスが
部分和を計算

部分和の総和を計算
(プロセス0に集める)

プロセス0だけが結果を出力

集団通信 — broadcast

```
mpi_bcast( buff, count, datatype, root, comm, ierr )
```

※ ランク番号rootのプロセスが持つbuffの値を, commで指定された他のすべてのプロセスのbuffに配布する.

- ◆ buff: 送り主 (root) が送信するデータの変数名 (先頭アドレス)
他のMPIプロセスは, 同じ変数名でデータを受け取る.
- ◆ count: データの個数 (整数型)
- ◆ datatype: 送信するデータの型
 - MPI_INTEGER, MPI_REAL, MPI_DOUBLE_PRECISION , MPI_REAL8など
- ◆ root: 送り主のMPIプロセス番号
- ◆ comm: コミュニケータ (例えば, MPI_COMM_WORLD)
- ◆ ierr: 戻りコード (整数型)

集団通信 — reduction

```
mpi_reduce( sendbuff, recvbuff, count, datatype, op, root, comm, ierr )
```

※ commで指定されたすべてのプロセスからデータを、ランク番号 root のプロセスに集め、演算 (op) を適用した結果をrecvbuffに設定する。

- ◆ sendbuff: 送信するデータの変数名 (先頭アドレス)
- ◆ recvbuff: 受信するデータの変数名 (先頭アドレス)
- ◆ count: データの個数 (整数型)
- ◆ datatype: 送信するデータの型
 - MPI_INTEGER, MPI_REAL, MPI_DOUBLE_PRECISION, MPI_REAL8など
- ◆ op: 集まってきたデータに適用する演算の種類
 - MPI_SUM (総和), MPI_PROD (掛け算), MPI_MAX (最大値) など
- ◆ root: データを集めるMPIプロセス番号
- ◆ comm: コミュニケータ (例えば, MPI_COMM_WORLD)
- ◆ ierr: 戻りコード (整数型)

集団通信 — mpi_allreduce()

```
mpi_allreduce( sendbuff, recvbuff, count, datatype, op, comm, ierr )
```

※ mpi_reduceとmpi_bcastを同時に行える関数。すべてのプロセスで同じ結果（総和など）が得られる。

- ◆ sendbuff: 送信するデータの変数名（先頭アドレス）
- ◆ recvbuff: 受信するデータの変数名（先頭アドレス）
- ◆ count: データの個数（整数型）
- ◆ datatype: 送信するデータの型
 - MPI_INTEGER, MPI_REAL8, MPI_CHARACTER など
- ◆ op: 集まってきたデータに適用する演算の種類
 - MPI_SUM（総和）, MPI_PROD（掛け算）, MPI_MAX（最大値）など
- ◆ comm: コミュニケータ（例えば, MPI_COMM_WORLD）
- ◆ ierr: 戻りコード（整数型）